

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) エヌイーシール株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒716-1112 岡山県加賀郡吉備中央町湯山1300-15	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	19	業種名：ゴム製品製造業		
事業の概要	自動車・産業機械用部品の製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	吉備高原工場		加賀郡吉備中央町湯山1300-15	
	②	久米南工場		久米郡久米南町上弓削東ヶ丘1317-2	
	③	美原工場		加賀郡吉備中央町美原1301-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度 (1 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	21,078 t CO ₂			20,867 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	吉備高原工場		7,852 t CO ₂					
	②	久米南工場		8,926 t CO ₂					
	③	美原工場		4,300 t CO ₂					
				t CO ₂					
			t CO ₂						
			t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 309,840 (千個)	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		68.029 kg CO ₂ / (千個)	67.348 kg CO ₂ / (千個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

不良の削減、時間当たり生産量の改善、断熱対策など生産に対するエネルギー効率の向上により、1%以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。

【目標削減率達成のための推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制の構築 ・環境ISO14001導入(2001年度)による組織作り、削減目標の設定、継続的改善の実施 ・各工場長で環境委員会を毎月開催し、エネルギー使用を監視し効率的な設備稼働を検討
--

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 	<ul style="list-style-type: none"> ・配管エアリー漏れの調査を行い、エアリー漏れ分のコンプレッサー稼働を無くし、電力使用量を削減する。 ・設備改善、チョコ停対策を行い、単位時間当たりの生産数を増やし、生産性の改善を継続する。 ・不良削減による電力・燃料消費量の低減を継続する。 ・設備立ち上げ時間を分散し、電力ピーク管理を実施。(デマンドコントロールの活用。) ・設備アイドル時間の短縮。 ・エネルギー高効率の設備への更新。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 ・全工場 	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率照明器具への切り替えによる電気使用量の削減。 ・配管エアリー漏れの調査を行い、エアリー漏れ分のコンプレッサー稼働を無くし、電力使用量を削減する。 ・設備改善、チョコ停対策を行い、単位時間当たりの生産数を増やし、生産性の改善を継続する。 ・不良削減による電力・燃料消費量の低減を継続する。 ・設備立ち上げ時間を分散し、電力ピーク管理を実施。 ・設備アイドル時間の短縮。 ・エネルギー高効率の設備への更新。 ・成形機の放熱部分の遮熱対策を行い、エアコン稼働の負荷を低減させ、電力使用料を削減する。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--